

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年3月12日

【2018年3月3日～2018年3月9日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは対米ドルではほぼ横ばいとなる一方、対円では小幅に上昇しました。また、2年国債金利は大幅に低下しました。

9日（現地、以下同様）に発表されたIPCAインフレ率は、ほぼ市場予想通りの結果でした。前年比のインフレ率は依然としてブラジル中央銀行のインフレ目標レンジの下限（現行3%）を下回っており、次回COPOM（金融政策委員会）での追加利下げ期待は一段と高まる結果となりました。

政治情勢につきましては、大統領選に向けて各政党の動きが活発化しています。8日には民主党（DEM）の党大会が開かれ、マイア下院議長が同党公認の大統領候補に指名されました。

また、ルラ元大統領に関しまして、高等司法裁判所（STJ）は5人の裁判官が全員一致で人身保護令状を認めない判断を示し、控訴審での有罪判決を受けて同氏が収監される可能性が一段と高まりました。同氏が大統領選に出馬できるかは不確定ながらも、6日に発表された最新の世論調査では30%以上の支持率を獲得しており、依然として高い国民的人気を有しています。

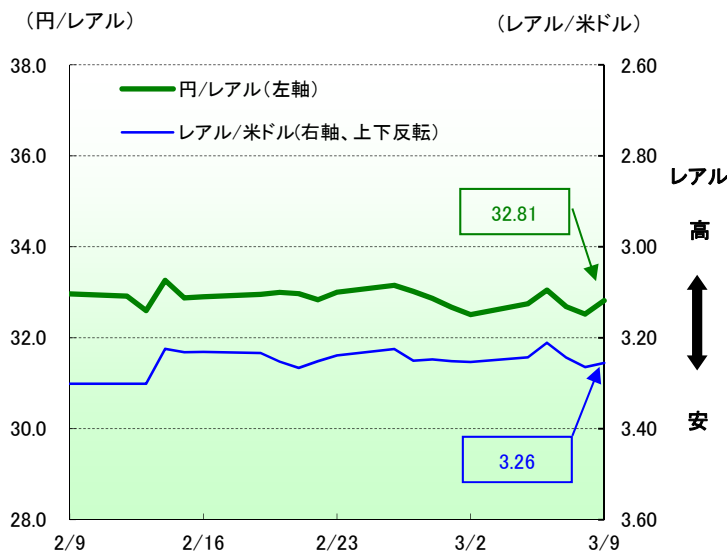
【2】今週の見通し

今週は小売売上高などの経済指標が発表されますが、市場参加者の関心はさほど高くはなく、20日から21日にかけて開催されるCOPOMを控えて、様子見気分が強まるものと想定しています。

市場参加者の注目は今週も大統領選をめぐる政治情勢に集まるとみられます。3月7日から4月6日までの間、連邦議会などでは議員資格を保持したまま所属政党を移ることが公式に認められています。そして、この期間が終了した後の下院の議席数により、10月の統一選挙（大統領選および上下両院議員選、州知事選、州議会選挙）における公的な選挙資金や選挙放送の持ち時間などが配分されます。ブラジルでは今回の選挙から企業献金が禁止され、各政党は公的な選挙資金のみでの選挙活動を強いられることとなるため、大統領選の動向を占う上で議会の勢力図の変化には大きな注目が集まります。

【ブラジル・レアル 為替推移】

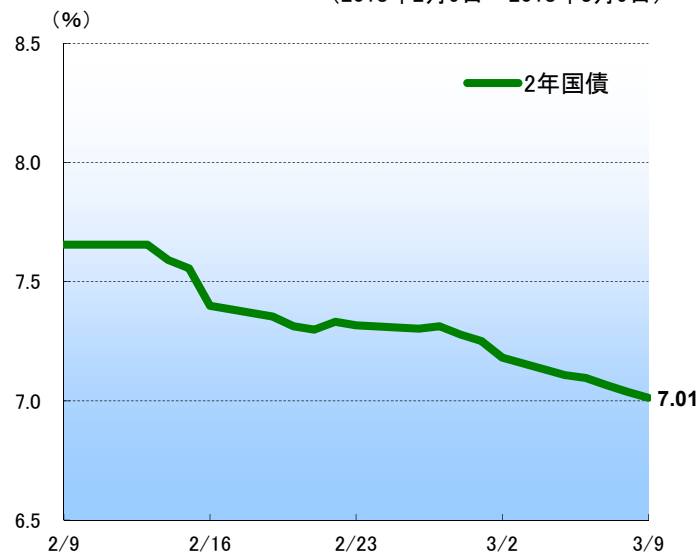
（2018年2月9日～2018年3月9日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

（2018年2月9日～2018年3月9日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00） HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>